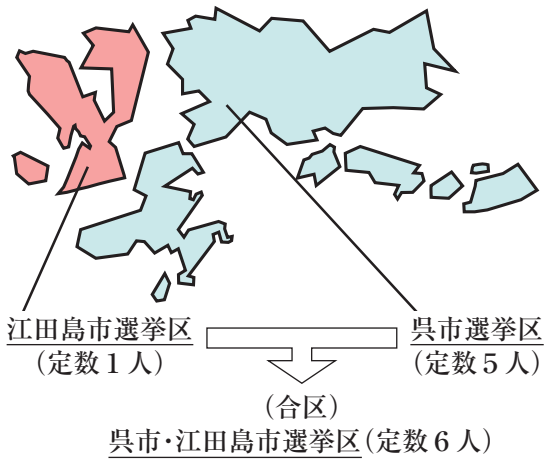
広島県議会議員の選挙区と定数が変わります

広島県議会議員の定数及び選挙区について、議員定数等調査特別委員会において11回にわたり審査を行い、今次定例会において、隣接する呉市、江田島市を合わせて一つの選挙区とする条例案が可決されました。この改正内容は、令和9年4月実施予定の広島県議会議員選挙から適用されます。

議員定数等調査特別委員会の審査の模様(6月19日開催)



特別委員会中間報告の概要

特別委員会は、特定の事項を審査・調査するため、必要に応じて本会議の議決によって設置されます。
なお、各特別委員会において指摘された当面講ずべき主な事項は次のとおりです。

DX推進・行財政対策特別委員会

■AI活用を含めたデジタルトランスフォーメーションの推進

DX推進は、県庁全体で分野横断的に進めていく必要があるため、各局で進める事業の進捗を把握し、改善が必要な事業については、サポート体制の妥当性や複数部局での連携状況などを含めて要因を分析し、改善を図ること。

県内企業のDX推進に当たっては、現場を含めた社内理解が必要であるとともに、IT人材の不足や業務多忙などにより、各企業において取組を進めることができない場合も考えられるため、県が関わった企業に対する継続的なフォローや人材不足等の課題を抱える中小企業に寄り添った支援を行うこと。

■戦略的な施策マネジメント及び持続可能な行財政運営の確立

将来的に県庁の職員数の減少が見込まれる一方で、県の業務量は増えていくことが想定されるため、業務の統合や廃止を含めて、県が担う業務の見直しを強化すること。

若者減少・少子化対策特別委員会

■若年層の定着・回帰に向けた社会減対策の推進

誰もがその能力を十分に発揮できる環境づくりを進めるため、女性活躍の推進に当たっては、本人の意思を尊重しながら、一人一人が主体的に能力を発揮できる環境づくりの観点を大切にして取り組むこと。

子供の職場体験支援事業については、親子での体験を通じて、子供たちが広島の魅力を実感し、将来の進路や広島への愛着につながるよう、子供たちの心にしっかりと届く実効性ある取組として進めるとともに、一度の体験にとどまらず、継続して参加したくなるような工夫についても検討すること。

■妊娠・出産・子育て等のライフステージに応じた少子化対策の推進

未婚化や晩婚化により子供が減少している状況を踏まえると、公的機関も結婚のための出会いの場の提供に取り組む必要があると考えられるため、AIによるマッチングシステム導入を含め、他県の状況も参考に取組を展開すること。

持続可能で活力ある地域づくり対策特別委員会

■中山間地域の活性化、魅力ある都市の形成及び地域を支える持続可能な生活交通体系の構築

中山間地域振興計画の見直しにおいて、中山間地域の現状や課題、これまでの取組を踏まえ、農業を中心とした中山間地域の活性化ワーキンググループでの議論も含めた取組を検討すること。

芸備線の維持に向けて、国鉄分割民営化の経緯等を踏まえて国やJRとの議論を進めるとともに、再構築協議会における議論の状況等について、議会及び県民に対する積極的な情報提供により周知を図ること。

■スポーツの振興を通じた地域の活性化及び文化芸術に親しむ環境の充実

パラスポーツに触れる機会や場を安定的に広げるとともに、パラスポーツ選手の活躍に向けた環境整備を続けること。

新アリーナ構想への関わり方は、県内23市町をバランスよく発展させる県の役割に鑑み慎重に検討するとともに、その検討は、グリーンアリーナの利用状況を踏まえ慎重かつ迅速に行うこと。

国際平和・観光振興特別委員会

■平和な国際社会の実現及び未来の平和を担う人材育成の強化

ウズベキスタンに日本人抑留者が建設したナヴォイ劇場や本県出身者の名前を残した平山郁夫タシケント国際文化キャラバンサライ等、日本人が国際平和貢献をしてきた海外の建築物や取組について、県としても積極的に周知すること。

「グローバル未来塾 in ひろしま」や「ひろしまグローバル・ユースフォーラム」といった平和に貢献する人材育成を目的とする重要事業を今後も継続し、参加者同士のネットワーク構築などに取り組むこと。

■国内外からの観光誘客・県内周遊の促進及び観光消費の増大

TAUを広島ファンの拡大、広島ブランドの価値向上に資する拠点として活用するため、看板商品の発掘やインバウンドの促進、県内の周遊観光の増加など、中長期的な効果を可視化して課題を把握するとともに、TAUで得られる様々なデータを積極的に関係者と共有して戦略的に活用できるよう、継続的な改善と再投資を行うこと。

産業競争力強化・人手不足対策特別委員会

■広島の強みを生かした本県産業の競争力強化、先端・成長産業の集積の強化及び地場産業の活性化

国の造船業再生ロードマップによる追い風を本県造船業の持続的発展につなげるため、他自治体の事例も参考にした、設備やDX化への投資、人材の育成・確保、労働環境改善に戦略的に取り組むこと。

半導体産業の持続的な発展に向けて、本県が有する学術研究機関の強みを最大限に生かし、高度人材の育成や、企業ニーズと直結した教育研究環境の整備に取り組むとともに、戦略性とスピード感を持った複合的な半導体産業政策を強力に推進すること。

■業界横断的な人手不足対策の推進、職業教育・人的資本経営など人への投資の強化及び外国人材の受入環境の整備

中小企業の人手不足対策として、省力化、デジタル化による生産性向上が重要であるため、企業の生産性向上につながる設備投資の促進による人手不足解消に取り組むこと。

県土強靭化・危機管理強化対策特別委員会

■ハード・ソフト両面からの防災・減災対策の強化及び県土強靭化の推進

大規模災害に備えるため、堤防や護岸の耐震化、災害に強い道路ネットワークの構築などのハード対策を着実に進めるとともに、自治体と連携した避難困難地域の重点対策や防災訓練など、住民の避難行動につながるようなソフト対策を強力に推進すること。

下水道管の老朽化による重大事故の防止に向けて、使用料収入の減少や老朽化が進む中にあっても、国に財源の確保を求めつつ、安全対策を徹底し、計画的な点検・更新を着実に進めること。

■自然災害・新興感染症等の危機管理体制の強化

災害発生時に災害対策本部が主要な指令機能を備え、適切な指示が行えるよう、体制をしっかりと整えること。

山林火災に備えるため、市町や消防など関係機関との連携体制や消防防災ヘリを含めた広域応援体制の強化に取り組むとともに、住民への情報伝達や避難誘導等の取組強化を図ること。

巻頭写真撮影の高校生に感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、県立福山葦陽高等学校の林 園実さんに、灰岡香奈広報委員長が議長からの感謝状を贈呈しました。

その後、写真部の活動や写真撮影時のエピソードなどについて懇談しました。

議会運営委員会

(6月30日選任)

議会の円滑な運営を図り、各会派間の連絡調整を行います。

委員長 下森宏昭　副委員長 稲葉 潔
委員 宮崎康則　委員 三好良治
委員 的場 豊　委員 出原昌直
委員 高田 稔　委員 山木 茂
委員 神田隆彦　委員 山下 守
委員 井上謙一郎　委員 上野寛治

この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。
ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。
あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会事務局 政策調査課
TEL 082-513-4743
FAX 082-222-9600
MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp

VEGETABLE OIL INK

- **インターネット中継**…本会議や委員会の模様をYouTubeで配信しています(ライブ中継・録画中継)。
- **テレビ広報番組の配信**…「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。
- **キッズサイト「みんなの県議会」**…県議会の仕組みなどを分かりやすく説明しています。

県議会ホームページからアクセスできます。 広島県議会 検索